



環境のあゆみ
2011

ダイジェスト

P 1. 「ダイジェスト」「環境のあゆみ 2011 報告にあたり」

P 2. 「会社概要」「事業所一覧」

P 3. 「経営者ご挨拶」「経営理念と環境方針」

P 4. 「環境マネジメントシステムの概要」

メロディアン環境マネジメントシステム運用組織図を掲載しています。
組織図には ISO14001 認証取得組織と認証取得外組織を色分けして識別しています。
補足ですが、内部環境監査指摘件数は EMS 構築当初は多かった指摘件数が、徐々に減少してきています。

P 4. 「GHG(温室効果ガス)排出量の推移(2008年～2010年)」

過去3年間のGHG排出量の推移グラフを掲載しています。
全社で使用する社用車の使用に伴って消費されるガソリン使用量は、2008年度に対して2010年度は約17%の改善が図られました。また、電力消費量も全事業所で同期間の比較では約20%の節電を実現しています。

P 5. 「環境目的・環境目標の達成状況」

2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)の環境目標への取り組みに対する達成状況をハンコマークで評価結果と、その結果に対する解説を掲載しています。

P 5. 「高山植物保護活動の支援」

1992年(平成4年)の日本高山植物保護協会へ法人会員として入会以来、メロディアンは高山植物保護活動を通じて環境保全活動に対する啓蒙活動を継続してきました。2010年度はほぼ活動計画通り実施されました。主な高山植物観察写真を掲載しています。

P 6. 「三重工場の廃棄物処理状況」

三重工場から排出される廃棄物の主だった経路を図で示しています。また、三重工場の生産工程で発生する中身入りポーシヨンの破碎分別工程のフローを写真付きで紹介しています。

P 7. 「省エネ活動 三重工場エネルギー効率化への取り組み」

P 8. 「環境保全活動」

「排水処理の管理状況(三重工場)」

三重工場の排水処理設備から河川へ放流される処理水の管理状況について、毎月の測定結果を掲載しています。

「容器包装リサイクル法への取り組み」

同法規制に従って、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会との再商品化委託契約を結んで再資源化の委託を行っています。この委託に伴う委託申請額の推移グラフを掲載しています。

「環境のあゆみ 2011」報告にあたり

この環境レポート「環境のあゆみ」は、環境保全活動の報告を主な目的とし、2002年度(平成14年度)より一般の方々へ公開しております。また、紙資源保護を目的に Web での公開を基本とし、冊子による配布を最小限に抑えておりますのでご理解いただきたく存じます。冊子ご希望の場合は当社ホームページよりダウンロードしてご利用ください。また、作成単位を極少化するために社内作成しておりますので、印刷インクや用紙など素材面での対応が十分出来かねている現状ではございますが、重ねてご理解いただきたく存じます。

今回の「環境のあゆみ2011」の報告対象期間は2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)の活動内容と結果を基本としておりますが、一部報告には2011年度の計画を含んでいます。

対象範囲はメロディアン株式会社(全事業所)と株式会社メロディアンメンテの環境保全活動です。

昨年6月発行の「環境のあゆみ2010」に対する貴重なご意見・ご感想をお寄せ頂きありがとうございました。

読者の皆様の貴重な声を今後も環境保全活動と報告書作成に活用させて頂きたく、今回も簡単なアンケート

をご用意いたしましたので、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せ下さい。

(発行担当:環境対策委員会 事務局)



会社概要

創業 昭和33年12月6日
 設立 昭和36年9月20日
 資本金 9,850万円
 従業員数 268名(2011年4月1日現在/関連会社を含む)
 事業内容 コーヒーフレッシュ、シロップ、美と健康飲料、
 およびデザート等の食品製造販売
 関連会社 株式会社メロディアンメンテ、
 株式会社メロディアンハーモニーファイン



沿革

昭和33年12月 大阪府八尾市に日興乳業創業
 昭和36年 9月 日興乳業株式会社を資本金100万円で法人設立
 昭和49年 9月 資本金2,000万円に増資
 昭和54年 5月 東京営業所開設(現:東日本事業所)
 昭和55年 6月 広島営業所・福岡営業所(現:九州営業所)開設
 昭和61年11月 三重上野工場建設 敷地面積1万坪40億円投資
 平成 元年 3月 高松営業所開設(現:四国営業所)
 6月 メロディアン株式会社に社名変更
 平成 2年 4月 国際花と緑の博覧会「MELODIAN LAND」出展
 平成 3年 1月 環境対策委員会を発足
 平成 4年 4月 『環境対策委員会のあゆみ』(現:環境のあゆみ)を発刊
 10月 株式会社メロディアンメンテ設立
 11月 『日本高山植物保護協会(JAFPA)』へ法人入会と関西支部設立に協力
 12月 資本金9,800万円に増資
 平成 5年 3月 高山植物保護キャンペーン『高山植物いろいろプレゼント』を実施
 社用車のディーゼルエンジン車からガソリンエンジン車への全面切替を決定(NOx対策)
 平成 6年 6月 三重上野工場排水処理設備の増設
 平成 7年 5月 当社社員より『日本高山植物保護協会(JAFPA)』の理事へ就任
 平成 8年 5月 三重上野工場へ高温焼却炉を設置(ダイオキシン対策)
 平成10年 3月 社用車のガソリンエンジン車輻への全面切替完了と低公害車導入の決定
 12月 三重上野工場がISO9002の認証を取得
 平成12年 1月 ISO14001を全社一斉認証取得
 平成13年 4月 近畿事業所・名古屋営業所(現:中部営業所)開設
 10月 認証取得範囲を企画開発部門まで拡大しISO9001へ更新
 11月 三重上野工場の焼却炉運転の全面停止(平成14年3月撤去)
 平成14年 1月 三重上野工場から埋め立て処分場へ直接排出される廃棄物の撲滅達成
 2月 三重上野工場排水処理施設へ膜濾過設備を導入
 12月 三重上野工場にてHACCP認証取得
 平成16年 4月 岡山営業所開設
 11月 三重上野工場を三重工場へ名称変更(市町村合併に伴う変更)
 平成17年 1月 社用車へハイブリッド車の導入を開始
 11月 株式会社メロディアンハーモニーファイン設立
 平成18年 4月 四国営業所を岡山営業所へ統合し中四国営業所を開設
 平成19年 3月 三重工場へ中身入ボーション破碎分別設備を導入
 10月 研究所開設
 平成20年 4月 ISO14001 認証取得範囲から営業部、特販部、開発営業部を除外し、当社環境マネジメントシステムの準適用組織とした
 平成21年 4月 広島営業所を中四国営業所へ統合

事業所一覧

本社	〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘 1-33	TEL : 072-999-3250 (代表)
研究所	〒581-0869 大阪府八尾市桜ヶ丘 2-128-1	TEL : 072-924-3215 (代表)
東日本事業所	〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-29-4 (西新宿ミノシマビル3F)	TEL : 03-5371-3637 (代表)
近畿事業所	〒532-0003 大阪市淀川区宮原 5-1-18 (新大阪サンアールセンタービル10F)	TEL : 06-6150-3277 (代表)
中部営業所	〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-2-7 (丸森パークビル5F)	TEL : 052-587-5150
中四国営業所	〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井 1-1-3 (日本生命岡山第2ビル6階)	TEL : 086-235-3826
九州営業所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-5-18 (サウス・ワン1F)	TEL : 092-474-4227
三重工場	〒518-1151 三重県伊賀市白檜 2816-6	TEL : 0595-20-2000 (代表)

ご挨拶

私たちメロディアングループは昭和33年に牛乳会社として創業して以来、豊かな食文化の創造を目指し、「美と健康」、「おいしさはしあわせ」をテーマに無菌充填包装技術を活かしたコーヒーフレッシュ、パウチシロップそして飲料などロングライフ商品を中心とした商品開発、製造販売を実施して参りました。さらに、この無菌充填包装技術を活用した化粧品事業にも取り組んでおります。

また、今年の3月に未曾有の大惨事を引き起こした東日本大震災がございました。この度の震災で被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。この震災をきっかけに、経営環境の変化がなお一層を激しくすると同時に、エネルギー政策の大きな転換期にもなるであろうこの時期に、再度基本に立ち返り「環境と経営の一体化」を目指し、さらなる省エネ活動、効率化生産体制への取り組みを行い、安心、安全な品質管理体制の強化とコンプライアンスを遵守した経営活動を実施して参ります。また18年続けて参りました高山植物保護活動も引き続き実施して参ります。今後も企業の使命として環境に配慮し、甚だ微力ではございますが、出来る事を着実に実施して参りたいと考えております。

今後も豊かな食文化の創造を目指し、当社の社是であります「信頼される人間、信頼される商品、信頼される企業」を基本に企業活動を実施していきたいと考えております。

引き続き御指導、御支援、何卒宜しくお願い申し上げます。

2011年6月 代表取締役 社長 中西 優紀雄



経営理念と環境方針

【経営理念】

— 社 是 —

1. 信 頼 される 人 間 になろう。
1. 信 頼 される 商 品 を 作 ろう。
1. 信 頼 される 企 業 になろう。

— 基本方針 —

当社は、豊かな食文化の創造をめざし、真実と信頼の経営を展開して、顧客、取引先ならびに社員の繁栄と幸福に最大限寄与することにあり、以下の5項目を基本方針とします。

- 一、信頼される商品の提供、および誠実かつ積極的な社員の人間形成を通して、企業の信頼性を向上させます。
- 一、市場環境の変化に対応した着実な規模の拡大と、経営管理システムを強化・徹底して、収益構造を強化します。
- 一、顧客第一主義にもとづいた、『おいしさはしあわせ』『美と健康』をテーマに創造性豊かな新製品の開発を目指すとともに新市場開拓をより一層推進します。
- 一、法令遵守を基本に、環境保全にも積極的に取り組み、広く社会や顧客に支持される企業づくりを目指します。
- 一、働き甲斐の創造につながる、明朗かつ風通しのよい職場環境づくりを推進します。

環境方針

1. 基本理念

当社は、高山植物保護活動をはじめとして、地球環境の保全に積極的に取り組み、社会や顧客から支持される企業作りを目指し、「物を大切に」「資源を大切に」「自然を大切に」を基本に、環境負荷の低減を図ります。

2. 基本方針

- 1) ISO14001に基づく環境管理システムの構築を行い、外部取引先様と共に環境保全活動を推進し、環境汚染の防止と環境負荷低減の継続的改善を図ります。
- 2) 環境関連の法規制、地域との協定などの順守と、これらの管理基準を整備し、管理状態の維持・向上を図ります。
- 3) 環境保全活動の目的・目標を定め、これを定期的に見直すと共に、その達成を図ります。
- 4) 無駄の排除・抑制及びリサイクルなどによる、資源の有効活用を図ります。
- 5) 電力・燃料など、エネルギーの効率的利用を推進し地球温暖化防止を図ります。
- 6) 従業員への教育、社内広報活動などを実施し、全ての従業員に対して、環境方針の周知及び環境に関する意識の向上を図ります。
- 7) この環境方針を社外へも公開し、達成を図ります。

平成21年4月1日
メロディアン株式会社
株式会社メロディアンメンテ
代表取締役社長 中西 優紀雄

環境マネジメントシステムの概要と運用状況

社長が責任者(環境管理責任者が副責任者)として経営会議を毎月1回開催しています。

この会議には、各部門の責任者である部次長をはじめ各部門の担当取締役も参加して年度目標の達成状況の確認や、必要に応じて環境情報の共有化を図ると共に、環境保全に関する重要事項の審議と決定を行っています。

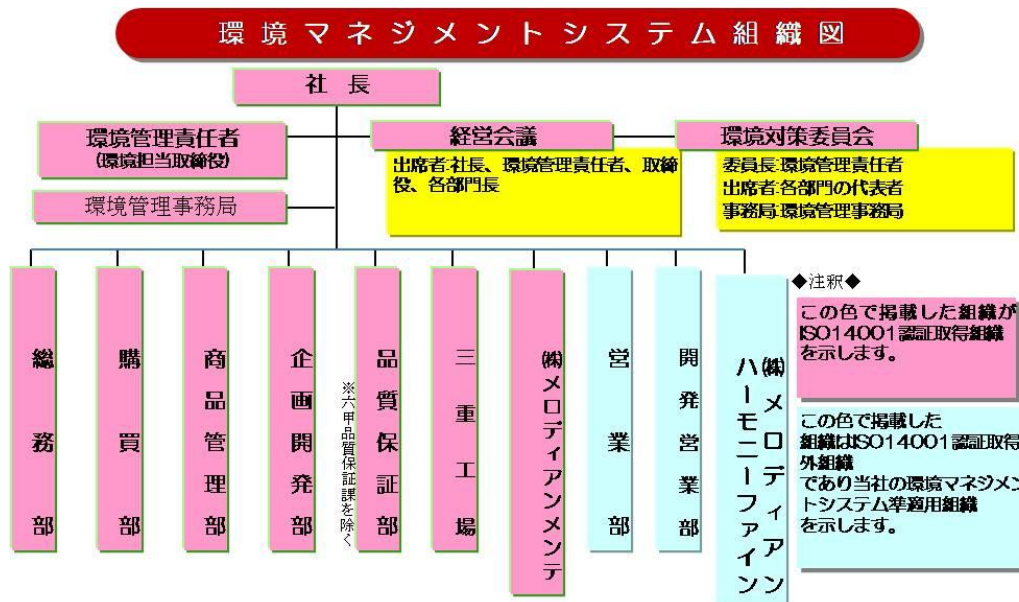
また、経営会議の直下には環境管理責任者が委員長をつとめる環境対策委員会を設置し、経営会議へ上申するための実務レベルの協議ならびに内部監査のための打合せの他、この「環境のあゆみ」編集方針の打合せなども実施しています。

当社は2000年(平成12年)1月に環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 (JISQ14001)を全社全事業所一括で認証取得いたしました。(現在の認証取得範囲は「環境マネジメントシステム組織図」をご参照下さい。)

この認証取得以来、毎年1回以上の内部環境監査と外部の第三者審査機関による定期審査を実施し、徐々にではありますが環境マネジメントシステムの維持向上に努めて参りました。

2010年度も、社内の資格認定基準を満たした内部環境監査員により全社の適用範囲を対象に内部監査を実施した結果、内部監査員から不適合として計3件の指摘が行われ「是正要求書」が発行されています。これらの指摘事項については全て該当部署による是正処置が実施され、内部監査員による確認が完了しています。

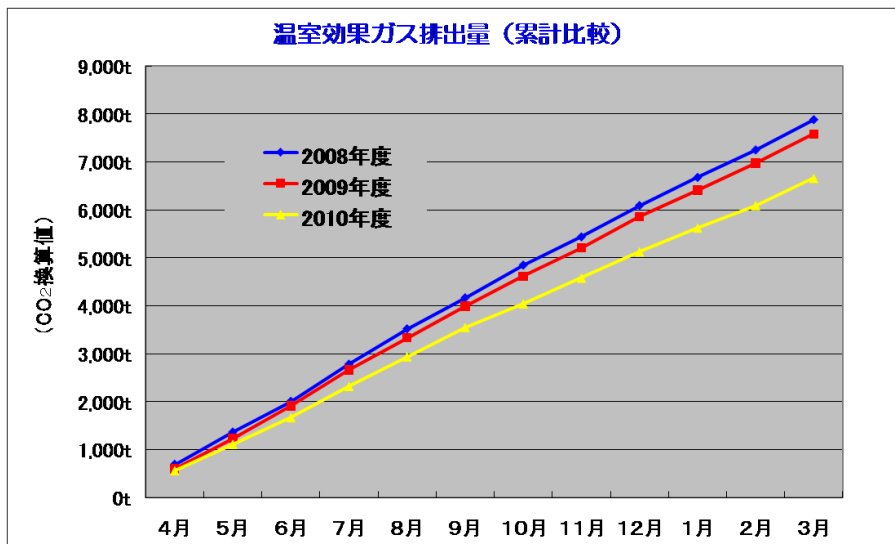
また、外部審査機関による定期審査では、不適合には至らないものの放置すると不適合に至る可能性がある事項として、計4件の指摘をいただきましたので、現状の環境マネジメントシステムを改善できる機会と捉えて、各関連部署を中心に重要な見直しを実施しています。



GHG排出量の推移(2008年~2010年)

昨年、一昨年と事業活動に伴う温室効果ガス(GHG)の排出量を低減してきました。

また、電力使用量についても、最大の使用事業所である三重工場をメインに各事業所で省エネに取り組んだ成果として、2008年度と2010年度では全事業所で約12%の節電を実現していることも好影響を与えています。



環境目的・目標の達成状況(2010年4月1日～2011年3月31日)



【取り組み結果の評価マーク】



環境目的	2010年度の目標	結果評価	解説
環境と経営の一体化	環境データの継続把握	たいへんよくできました	年度当初に立てた計画に沿って、継続的かつ確実に目標を達成することができました。
	三重工場の省エネルギー原単位1%低減	がんばりましょう	前年対比で約10.5%となり、改善には至りませんでした。
	販促物のグリーン購入アイテム比率を70%にする。	たいへんよくできました	年間のグリーン購入アイテム比率は75%に到達し目標を達成できました。今後も引き続き継続して取り組みます。
	商品さばきサンプルの発生を前年実績より低減する。	たいへんよくできました	日付が古くなり正規価格で販売できなくなってしまう商品(=商品さばきサンプル)の発生を前年対比で5%下げることができました。
品質の向上・安定化を通じた環境保全活動の推進	外注支給原材料クレーム件数0件	がんばりましょう	残念ながら前年実績を上回る件数となってしまいました。
	配送クレームの低減(目標:発生率0.53%以下)	たいへんよくできました	最後の最後に、目標を達成することができました。来期も継続改善していけるよう、見直しも図って参ります。
	重大クレーム件数0件	よくできました	前年より大幅に削減できましたが、残念ながら目標達成には届きませんでした。来年こそ達成できるように取り組んで参ります。
	重大不適合件数0件	がんばりましょう	前年実績を上回る件数となり、目標としていた0件には及びませんでした。
	クレーム件数10%低減(配送クレームを除く)	たいへんよくできました	クレーム件数は達成率104%と目標達成をすることができました。
	不適合件数10%低減	がんばりましょう	工程内で発見される不適合は、前年対比で25%の削減が出来ましたが、目標達成には及びませんでした。

高山植物保護活動の支援

メロディアンは、特定非営利活動法人 日本高山植物保護協会(通称:JAFFPA/ジャフパ)を応援しています。

特にメロディアン本社が関西圏にあることから、JAFFPA 関西支部設立のお手伝いも参加させていただいたご縁もあり、単に法人会員として入会し、経済的な支援にとどまるのではなく、入会当初から関西支部の幹事として社員を派遣させていただき、また従業員の多くも個人会員として参加させていただくなど、共に高山植物を通じて自然環境の大切さと環境保全への啓蒙活動に参加させていただいています。

2010年度は当初活動計画通り進行し、伊吹山春の観察山行、伊吹山山頂美化活動、中央アルプス千畳敷夏の観察山行を行いました。下期活動が思うように進行できませんでしたが、おおむね目的を達成できた形となっております。主な高山植物の画像を掲載しておきますので、ご参考にしていただき、高山植物への興味を広げていただきたく存じます。



コマクサ

: 関西支部会報の名前にもなっており、高山植物の女王といわれます。花の形から馬の顔を連想してつけられたのでしょうか。

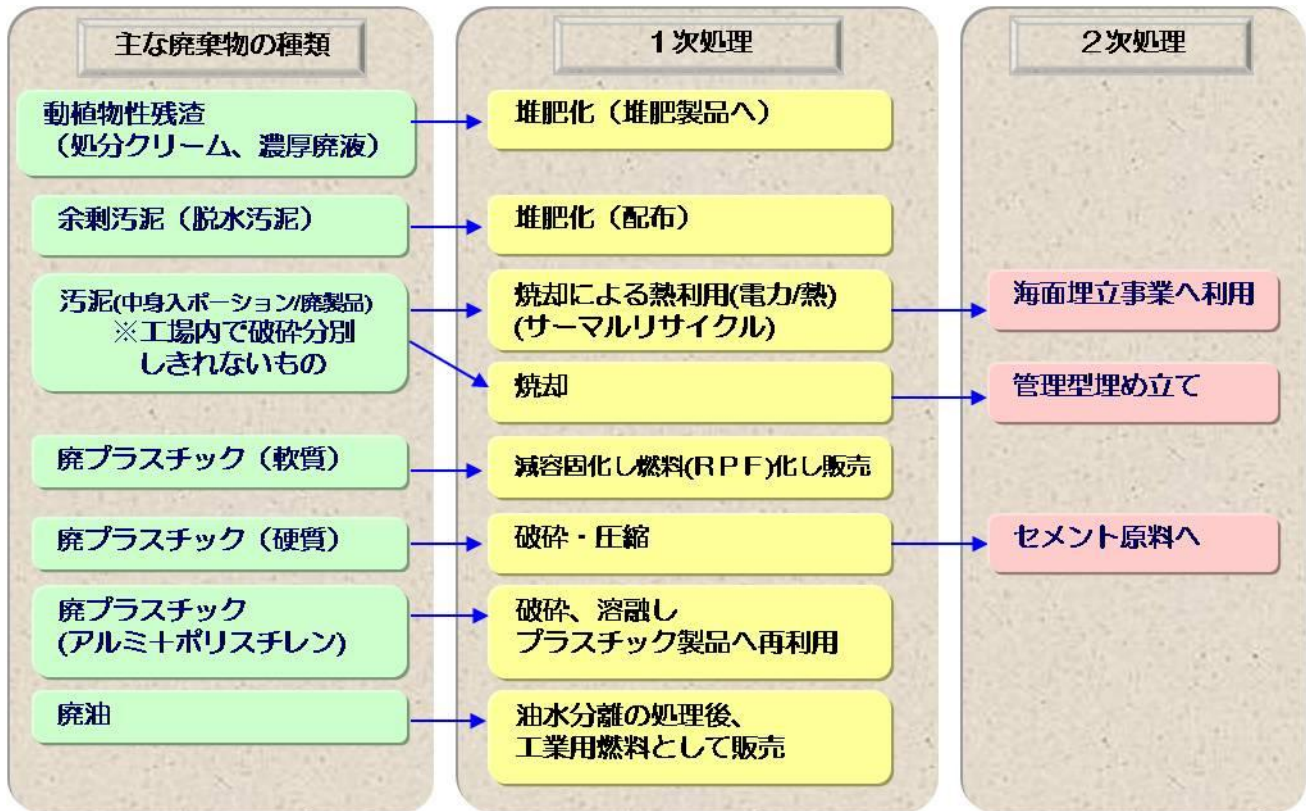


キタダケソウ

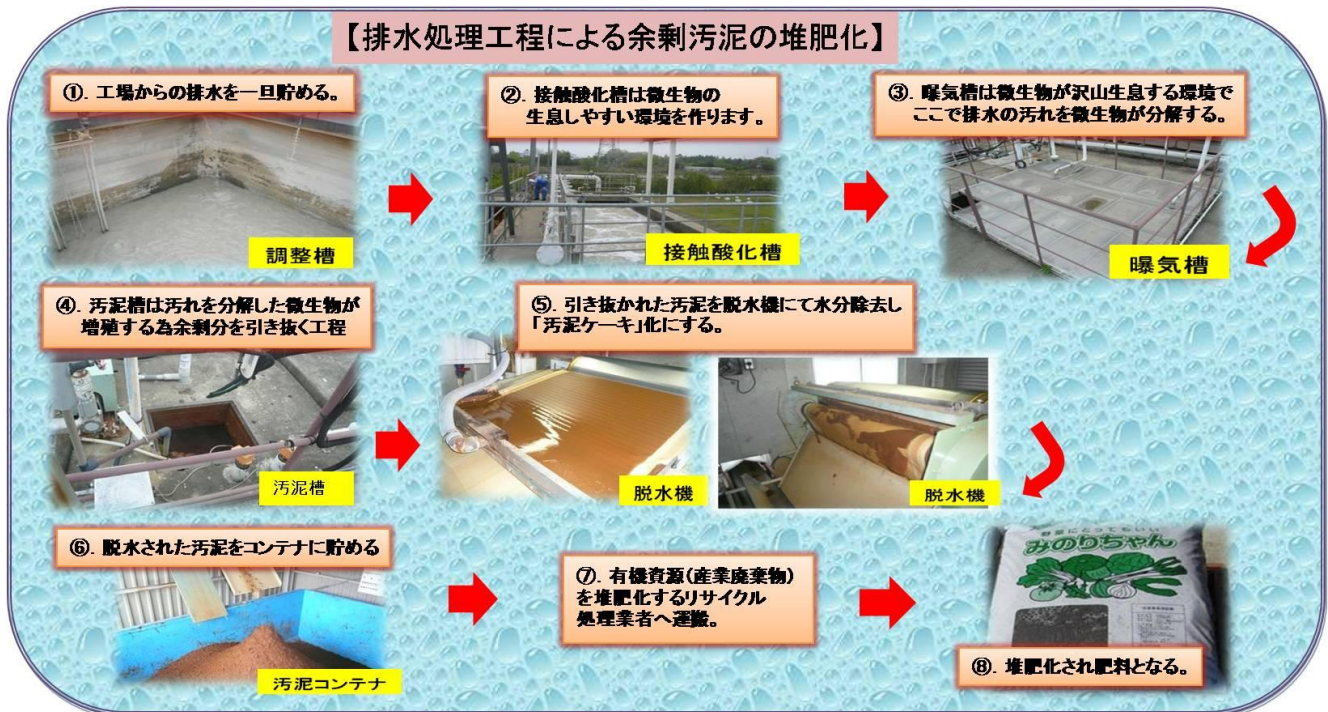
: 名前の通り、北岳の特産種で JAFFPA のシンボルの花です。

三重工場の廃棄物処理状況

三重工場から排出される廃棄物を次のような流れで、資源の有効利用に配慮した処理に努めています。



三重工場の排水処理設備は、活性汚泥により人工的に培養・育成された好気性微生物によって排水を浄化しています。下記はその主だった処理工程を表したものです。



◆省エネ活動◆ 三重工場 エネルギー効率化への取り組み

■ 製造現場レベルでのエネルギー効率化への取り組みについては、これまではエアリーク箇所やロス削減に重点を置いて進めておりました。

こちらが一定の成果に達した2010年度は、さらなる効果に向けて一歩踏み込み、圧縮エアの使用量自体の低減に目標を置き、活動を進めました。

製造現場と設備部門を横断した現場レベルの改善チームを立ち上げ、定期会合を持ちながら継続的に改善活動を展開。工程全般の使用状態や機器の構造についての詳細な把握と調査分析を行い、供給が過剰な箇所や特定、実際に機能していないシステムや装置の洗い出し、さらにはブロー排出量の最適把握などを通じて、全体で使用量の最適化を推し進めた結果、以下の成果を挙げる事ができました。

今後も他ラインへの水平展開を進めるなど、さらなる効果の拡大に取り組んでまいります。



圧縮エア使用量低減活動効果まとめ

	年間削減量(Nm ³ /年)
充填A号機の無菌エア使用量低減 (下記事例1.)	483,110
ケーブルライン週末エア使用量削減	54,000
充填ラインSIPでの圧縮空気使用量削減	41,667
粉体処理設備湿気逆流防止エア削減 (下記事例2.)	33,600
粉体処理設備ダンプンダサーバー搬送エア削減	19,600
粉体処理設備未使用設備での削減 (下記事例2.)	18,550
無菌タンクSIPでの削減	1,165
合計	651,692

圧縮エアの使用量
年間TOTAL
651,692Nm³削減

1. 改善事例 (充填A号機 使用量低減)



排気バルブの制御



ヒーター側がイドすぎ目調整



搬送用エアの停止



湿気逆流防止エアの停止

2. 改善事例 (粉体処理設備 使用量低減)

■ 環境負荷の軽減 換算値 (原油量換算 CO₂排出量換算)

-原油年間削減量 ドラム缶換算(200L換算)

-CO₂ 排出年間削減量



× **114**本分

43.33 t-CO₂

環境保全活動

排水処理の管理状況（三重工場）



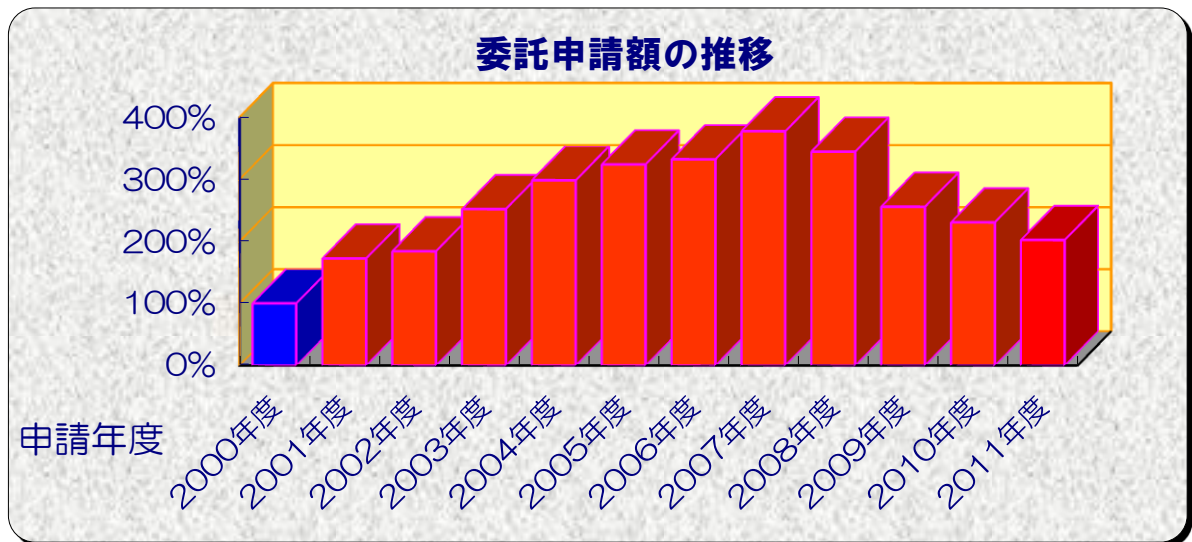
三重工場の生産ラインから排出される排水の管理状況は昨年との報告以降も下表の通り関連する法規制の基準値を下回って問題なく推移しています。

単位：mg/L（但し、水素イオン濃度は単位なし、大腸菌群数は個/ml）

測定項目(基準値)	測定サンプル採取日(月/日)と測定結果											
	4/7	5/7	6/16	7/13	8/3	9/27	10/21	11/10	12/15	1/24	2/8	3/10
水素イオン濃度 (5.8~8.6)	6.90	6.90	7.00	7.00	6.80	7.00	6.80	7.10	7.30	7.10	6.70	7.20
生物学的酸素要求量 (25 以下) *	2.00	2.00	3.00	2.00	2.00	2.80	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
化学的酸素要求量 (なし)	7.90	9.20	10.60	9.40	7.70	9.20	9.30	13.40	13.30	13.20	10.90	9.50
浮遊物質量 (90 以下)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.50
ノルマルヘキサン抽出物質 (30 以下) *	1.00	1.10	1.00	1.00	1.00	1.00	1.10	1.10	1.00	1.00	1.00	1.00
全窒素 (120 以下)	15.10	28.70	20.90	23.50	14.00	16.90	26.00	16.70	23.60	16.00	26.30	12.00
全リン (16 以下)	0.46	0.52	0.81	1.19	0.62	0.34	0.16	0.82	0.51	0.27	0.48	0.27
大腸菌群数(3000 以下) *	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30.00
鉄 (10 以下)	1.20	1.20	2.10	1.40	0.80	1.70	1.50	2.30	1.80	2.40	1.70	1.40
マンガン (10 以下) *	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.20	0.10
亜鉛 (2 以下)	[年 1 回測定項目] 0.2 (4 月 7 日採取)											
基準適合判定	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合

【解説】 基準値末尾に*印の測定結果は測定限界値以下のため測定下限値を記載、但し大腸菌群数は陰性を示す(-)を記載

容器包装リサイクル法への取り組み



当社は、容器包装リサイクル法に定められた「特定容器利用事業者」として、法に定められた指定法人である「公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会」様と再商品化委託契約を締結し、当社が製造販売する食品の容器包装に係るリサイクルに関する委託を行っています。

その委託量は、毎年度の製造数量に基づいて算出しますが、2006年度の算定方式変更によって、委託数量の推移を単純比較できないため、この委託に伴う申請額の推移を公開指標として毎年掲載しています。

今回掲載には、2011年度の申請額まで掲載することができました。

初年度の2000年度の委託申請額を100%としますと、2011年度の申請額は202%となります。

一時期は300%をゆうに超える申請額でしたが、委託単価や算定係数の推移により、右のグラフのとおり推移しています。

